

神田通信

●歌稿の送り先について●

九月以降も

月々の歌稿の送り先は

263-0031 千葉市稲毛区稲毛東

6-10-12-1202

関谷方 久我田鶴子

締切は、毎月十日必着です。郵便物の土曜日配達が十月から休止、届けられる日数も繰り下げとなりました。時間の余裕をもってお送りください。

新型コロナウイルスによる状況が落ち着くまで本社に集まって作業することを控えています。

◆七月四日、NHKラジオ、秘村弘さんの「ホームホムのフムム」で、香川進の

・花もてる夏樹の上をあゝ「時」がじんじんと過ぎてゆく
なり

が紹介されました。(小野)

◆石垣島の街路樹オキナワキョウチクトウは、見た日はいいが猛毒だそうで注意が必要とある。ミフクラギと呼ばれるのは、日が腫れるからとか。怖い。

◆朝ドラ「ちむどんどん」の第64話。何と大工哲弘が登場した。歌ったのは八重山民謡「目ぬ美しゃ」。久しぶりの彼の歌声に、胸がときめいた。録音再生で四回聴いた。(藤田)

◆数年前から習っている水彩画のグループ六人展を開くことになった。上達してかと思つたら一生できない、恥をかくのも勉強だということ。これって、歌集出版と同じかもしれない。(高尾)

◆今年、紫陽花が大きく鮮やかに咲いている。雨や温度がちょうど良かったらしい。今は七月半ば。九月には暑さもおさまり、

コロナも収まっているといいのだが。(木村)

◆喪服の出番が今週は三度。いつぞやの冬もこんなことが。親族の新盆も三つあり、そんな年齢になったのだと改めて思っています。(和美)

◆四十年前、初めてグループの月例会に出席したのは夏だった。誌上の香川進の歌を声に出して読んでから、歌会に入っていた。その時の一語「精神の夏」が今もよみがえる。(楢垣)

◆批評を引き受けてしまったこととをいつも後悔するのですが、じっくり読んで勉強になりました。担当者の言葉です。多くの人の協力に感謝です。(磯田)

◆ここ二年間やらなかった小学校の夏休みのラジオ体操。今年度は再開するのだが、各学年とも一日のみの開催。ラジオ体操の意義とは？(玉井)

◆今日は地域の神社のお祭り。参道に詰んで屋台が並んでいたのは随分昔のこと。今では申し訳程度に屋台がバラバラと。時

代は変遷して行く。(成彦)

◆今号は、八橋千代子歌集「横浜」と若里周英歌集「北箱八間」の批評号です。奇しくも、地名がタイトルの両歌集。それぞれの特長がよく出ています。しかも、二人は同じ年(らしい?)。

◆季節のアンソロジーは、秋です。執筆者は、地中海に復帰した山元富貴さんです。山元さんには歌集「あわきむらさき」(地中海叢書)があります。

◆送風塔には、五月の末に亡くなった菊岡栄子さん(元漣グループ長)のことが。年内に追悼号を組む予定です。

◆収まりつつあるかに見えた新型コロナの感染でしたが、七月に入ってまたまた急増。今年度も全国大会を開催することはできません。そこで、昨年度と同じように誌上全国大会を行うことにしました。詳細は95ページに。多くの方々のご参加を!

詠草締切、九月末日。藤田美智子宛に返信用の封筒を同封してお送りください。(久我)

クリップ

■入会届・退会届について

葉書に、①氏名(ふりがな) ②住所 ③電話番号 ④生年月日 ⑤性別 ⑥送本開始(停止)月を記入の上、本社に提出してください。退会届の場合は、①②⑥の記入をお願いします。急な送本停止には対応できませんので、ご了承ください。

■会費納入について

会費は、半年分、または一年分を前納することになっていきます。

各欄の月額は次の通りです。

- ・ A欄 二〇〇〇円
- ・ B欄 一五〇〇円
- ・ C欄 一〇〇〇円
- ・ 贈読 一〇〇〇円

二十歳未満の学生は五〇〇円です。(若い人たちは是非ご勧誘ください)

00160・4・179569 地中海社

振替用紙の連絡欄に内訳をお書きください。支社・グループでまとめて納入していただける幸いです。

■原稿用紙のご注文について

一冊一五〇円。それに送料がかかりますので、まとめてのご注文がお勧めです。本社、または担当の茂木斌までご連絡ください。こちらから発送する際に振込用紙を同封いたしますので、代金はそれを使って振り込んでください。

■本誌の追加注文について

本社に葉書にてご連絡ください。代金は一冊一〇〇〇円。ただし、七〇周年記念号については、一冊二〇〇〇円です。会費と同じ「地中海社」の口座にお願いします。

■見本誌について

勧誘用に見本誌をお求めになる場合は、送料のみご負担いただきます。二冊までなら二〇〇円分の切手を同封してお申し込みください。

■歌集を出版する際には

地中海叢書番号をご請求ください。葉書に住所氏名の他に、①歌集名(未定の場合には仮題でも) ②発行時期 ③版元を記入して本社宛に。折り返し、登録した叢書番号と事務手続きの文書をお送りいたします。出版後には本社保管用に一冊お送りください。

■九曜書林は、比較的安価な歌集出版を考えていて、自分ではどうしていいか分からず困っている方のために立ち上げました。

印刷・製本は、本誌の印刷をしている京成社にお願いしています。二、三〇万円くらいでも予算に応じた出版が可能です。まずは、編集部にご相談ください。■本社への連絡について

■葉書か封書でお願いします。

電話はありますが、常駐する者がおられませんので、誰かが本社で作業している時にしか通じません。急を要する場合には、

・ 藤森：皿 090-8301-6428

・ 久我：皿&皿 043-241-7925
までご連絡ください。

■本誌の発送について

毎月、藤森が行が宛名シールを作成し、印刷所から発送してもらっています。万が一、届かなかった場合には、担当の藤森までご連絡ください。

支社・グループだより

七月二十五日はグループの短歌会でした。八月はお休みですが、九月には七〇周年記念号の感想会をします。

(もとむらゆみこ・それいゆ)

● 訃報 ●

熊本支社長の本田良一さんが、七月二十二日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

【地中海社】

2022年度「地中海」誌上全国大会のご案内

「地中海」創刊70周年を迎えた今年も、コロナ禍により全国大会を開催できず残念なことです。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

昨年の「一はつなつの風—地中海通信歌会」には多くの会員の皆様が参加され、誌上ながら充実した歌会となりました。そこで、今年度も引き続き誌上による全国大会を開催いたします。(短歌でつながる私たち)、多くの方々のご参加をお待ち申し上げます。

1 詠草 新作1首

「地中海」原稿用紙に、住所・氏名・所属グループ名・ABCを明記し、

9月末日必着で下記宛にお送りください。

その際、長形3号封筒に94円切手を貼って、ご自分の住所・氏名を記入した返信用封筒を同封してください。昨今の郵便事情を考慮して、早めの送付をお願いします。

2 送付先

〒960-0462 伊達市本町30 藤田 美智子

3 選歌と歌評

- ① 詠草集は10月10日頃に皆様のもとにお送りします。
- ② 詠草集が届きましたら、はがきに選歌と歌評を記入し、ご返送ください。
(詳細は、詠草集に記載いたします。)
- ③ 大会の報告(選歌・歌評等)は、2023年の1月号に掲載の予定です。

4 問い合わせ先

ご不明な点がございましたら、下記にお問い合わせください。

電話 024-583-2158 (藤田)

メール fujitams77@gmail.com

(担当 新樹の会)